

売れる米づくり技術情報No.5

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和6年7月4日
JAえちご中越
なんかん南営農センター

1回目穂肥は必ず生育診断を行い慎重に判断！ 2回目穂肥は後期栄養維持のため、確実に施用！

1. 7月1日現在の水稻生育状況（なんかん管内調査圃場平均）（長岡地区指標値を使用）

- 現在の生育状況は、草丈長め、茎数並、葉数やや多、葉色やや濃い状況です。
- 草丈が長くなっているため今後の生育に注意が必要です。

品種	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標
コシヒカリ	61	56	52	476	436	480	10.1	9.9	9.7	41.6	37.8	39.0
こしいぶき	59	56	52	497	473	500	10.3	10.4	10.2	42.4	40.8	40.5

※コシヒカリ元肥一発体系の場合、葉色(SPAD)指標値は『40.0』となります

7/10 指標値：SPAD 値 36 = 葉色板 4.6 (この数値の読み替えはコシヒカリ分施・単葉・出穂前 24～21 日のもの)

2. 幼穂形成期・出穂期予想と穂肥施用のめやす（7月1日現在の予測）

幼穂形成期・出穂期は平年より2～3日早い予想です(今後の気象により変動することがあります)。

品種	田植日	形幼成穂	出穂期	穂肥 1回目			穂肥 2回目		
				施用時期	出穂前日数	窒素量(kg/10a)	施用時期	出穂前日数	窒素量(kg/10a)
こしいぶき	5/5～10	7/1	7/23	7/1	23	1.0	7/9	14	1.5
こがねもち	5/5～10	7/4	7/27	7/9～12	18～15	1.0～1.5	7/17	10	1.0～1.5
あきだわら	5/10	7/17	8/10	7/16～18	25～23	2.0～3.0	7/27	14	3.0
コシヒカリ	5/5	7/8	8/1	7/14～17	18～15	1.0～1.5	7/22	10	1.0～1.5
	5/10	7/10	8/2	7/15～18			7/23		
	5/15	7/12	8/4	7/17～20			7/25		
	5/20	7/14	8/6	7/19～22			7/27		
	直播	7/15	8/7	7/20～23			7/28		

- 穂肥を多量に施用したり、時期が早過ぎたりすると草丈の伸長や、籾数過剰、登熟歩合の低下などが起こるため、適期に適量を施用しましょう。
- 2回目の穂肥（出穂期 10 日前頃）は節間の伸長にほとんど影響しないので、後期栄養を維持し、登熟向上と品質低下防止のため確実に施用しましょう。
- 元肥一発肥料を施用していて、出穂前10日で止葉の下の葉（第2葉）の葉色が葉色板（カスケール）で4.2～4.3、SPAD値で32～33を下回っている場合、速効性化学窒素肥料で窒素成分1kg/10aを超えない量を追肥してください。
- 3割減・5割減(こだわり米)栽培の化学窒素許容量を超えない量で散布をお願いします。

◎有機由来窒素割合によって、化学窒素 100%の肥料より施用時期を早める必要があります。

有機由来窒素割合	施用を早める日数	肥料名
20%以下	早めなくてよい	穂肥 500 号
30～40%	1～2 日	越後の輝き有機 30 穂肥
50～60%	2～3 日	越後の輝き有機 50 穂肥
100%	5～7 日	有機アグレット 673、味好 2 号

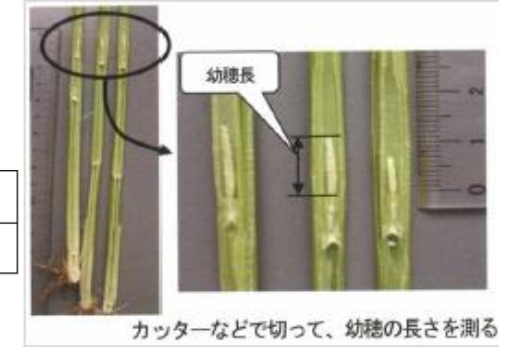
3. 生育は圃場毎に差があるので、必ず生育診断を行って穂肥時期・量を判断しましょう。

(1) 穂肥 1 回目：幼穂長を確認

幼穂長と出穂前日数の関係

幼穂長 (cm)	0.1	0.13	0.2	0.5～1.0	4.0～6.0
出穂前日数	24	23	20	18	12

コシヒカリ穂肥
1回目適期

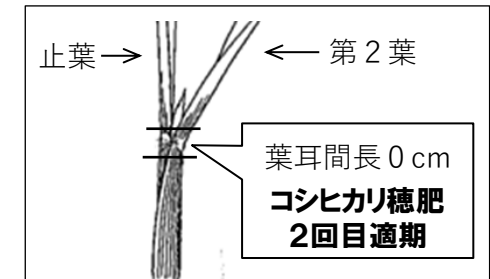


◎1 回目穂肥時のコシヒカリ生育めやす

診断項目	基準数値	診断のポイント
草丈	75cm	長い場合は下位節間の伸長を抑えて倒伏を軽減するために、遅らせて施用しましょう。
茎数	45 株植え 30 本/1 株 50 株植え 27 本/1 株	多い場合は控えめに施用しましょう。
葉色	SPAD 34(葉色板 群落 3.5/単葉 4.4)	濃い場合は控えめに施用しましょう。

(2) 穂肥 2 回目：葉耳間長

- 止葉の葉耳と、その下の葉(第2葉)の葉耳の間隔を確認して、同じ位置にあれば出穂9～10日前です。



4. 幼穂形成期以降は浅水の間断かん水から飽水管理に移行しましょう。コシヒカリの基肥一発肥料体系で「草丈長い・葉色濃い」場合は、下位節間の伸長を抑制するため間断かん水を継続しましょう。

5. 斑点米カメムシ対策のため、草刈り・防除の徹底をお願いします。

※今後も高温傾向が予想され、カメムシの多発に注意が必要な状況です。

雑草管理	薬剤防除
<ul style="list-style-type: none"> ○ 畦畔や農道の草刈りを継続し、出穂期以降も雑草種子が結実しない状態を維持する。 ○ ヒエ・ホタルイ等、カメムシ類の水田侵入・増殖を助長する水田内雑草を除草する。 ○ 刈取った草や枯れ草は放置すると、カメムシや全面着色粒原因菌の温床となるため除去する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防除薬剤によっては2回の散布が必要。また、圃場全体に基準量を散布する（額縁防除だけでは不十分）。 ○ 粒剤は適正な水深を守って散布する。 ○ 共同防除地域で、早生の出穂期が防除日より10日以上早い場合は追加防除をする。 ○ 個人防除地域では、出穂期以降の薬剤防除を準備する。

6. いもち病・紋枯病防除

- えちご中越管内で葉いもちの発生が確認されております。いもち病多発生地域や弱い品種（新之助・わたぼうし等）作付け圃場等を見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。
- 紋枯病が前年多発生した圃場は今年も多発生しやすくなります。特にこしいぶきは紋枯病に弱いため、7/10～20 頃に圃場を見回り、発生を確認した場合は早めに防除しましょう。

※ 防除薬剤等については前回発行の『売れる米づくり技術情報No.4』裏面を参考に対応してください。

【お問い合わせ先】

なんかん南営農センター米穀課：0258-61-2903

令和6年度 元肥一発肥料溶出シミュレーション

- 全農肥料農薬部より本年の気象状況を加味した【越後の輝き 有機30スーパー元肥】と【早生スーパー元肥パワフル30】の溶出シミュレーションを作成いただきました。
- 本年は雪解けが早く春先から高温基調で推移しているため肥料成分の早期溶出が予想されます。今後の気象予報でも高温の予報が出ているため更に溶出が早まる可能性があります。
- 溶出が早まった場合予定していた時期の肥効がズレ、節間伸長が助長され倒伏の危険性が高まります。また早期溶出が顕著な場合後半の肥やし切れが心配されますので、出穂10日前の葉色確認を行い後期栄養凋落を起こさないような肥培管理をお願いいたします。(出穂後の穂肥施用はお控えください)

対象肥料：越後の輝き 有機30スーパー元肥

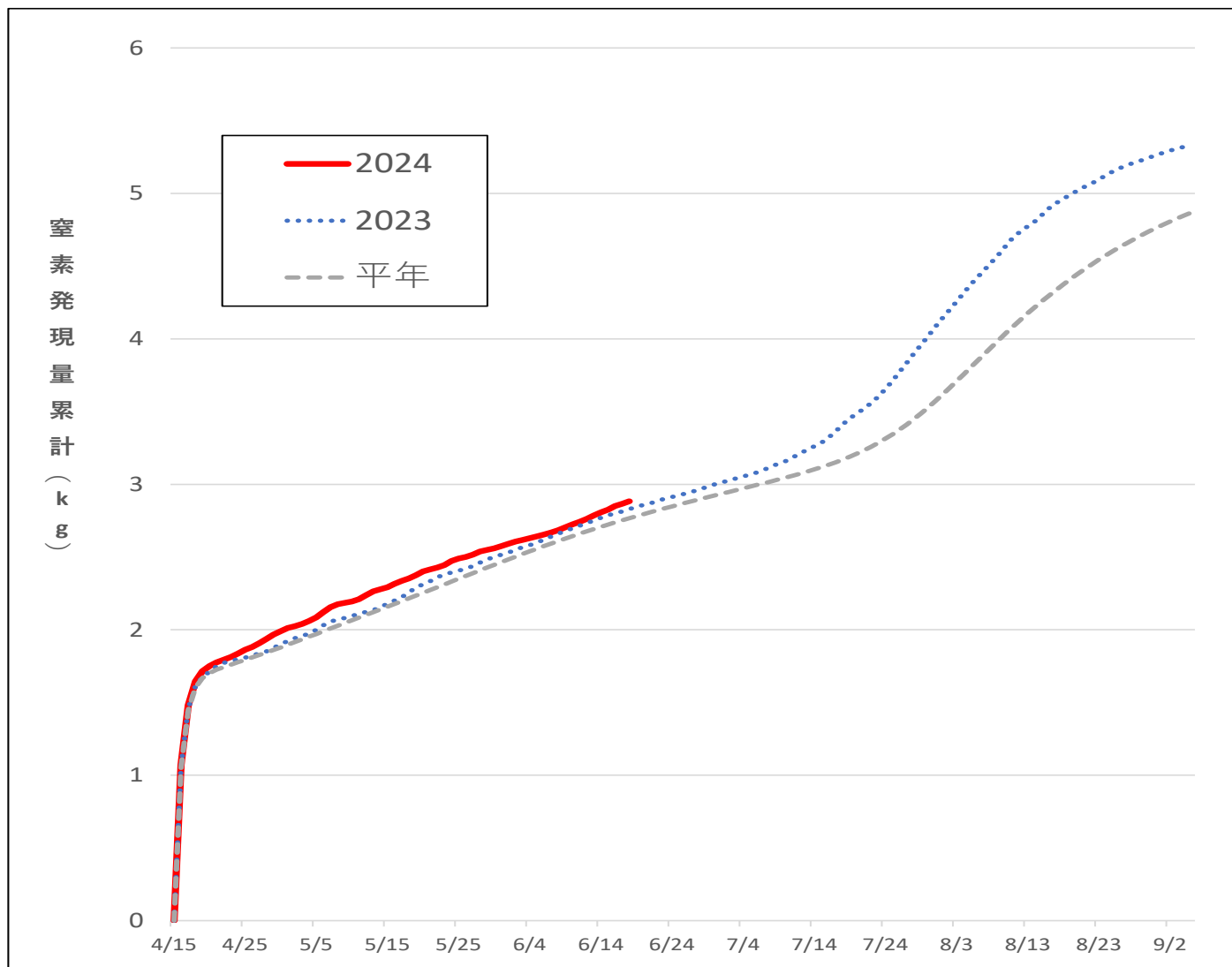
1. 測定条件

測定値	三条2024 6/19以降は平年値
施肥日	4月15日
推定開始	4月15日
推定終了	9月30日
施肥量	40kg/10a

2. 窒素施用量

資材種別	施用日	窒素施用量 (kg/10a)
緩効性肥料(90日タイプ)	2024/4/15	2.48
速効性肥料	2024/4/15	1.64
有機質肥料	2024/4/15	1.88
計		6.00

3. 積算グラフ・期間グラフ



対象肥料：早生スーパー元肥パワフル30

1. 測定条件

測定値	三条2024 6/19以降は平年値
施肥日	4月15日
推定開始	4月15日
推定終了	9月30日
施肥量	20kg/10a

2. 窒素施用量

資材種別	施用日	窒素施用量 (kg/10a)
緩効性肥料(25日タイプ)	2024/4/15	1.64
緩効性肥料(50日タイプ)	2024/4/15	1.94
緩効性肥料(70日タイプ)	2024/4/15	1.40
速効性肥料	2024/4/15	1.02
計		6.00

3. 積算グラフ・期間グラフ

